

2015
10月
第57号

かい 陽
海 陽

公民館報



海部川筋盆踊り大会



我が家の芝生も青い

海陽町立博物館協議会会長 岡澤 祖一



「隣の芝生は青い」という言葉があります。普段から見慣れた光景はその良さに気付かなかったり、他人の持ち物をうらやましがする場合などに使われます。そのような諺に

も登場する「青い芝生」ですが、阿波海南文化村の前庭の「青い芝生」は「隣の芝生」どころか、どこの芝生と比べても見劣りしない素晴らしい芝生だと思っています。しかもその庭の維持管理に当たっているのが、プロの業者さんではなく文化村所属の職員の方々ですから、これも驚きのひとつです。小さな子供さんたちが安心して各種のイベントなどに参加できるように安全面での配慮も十分図られているようです。

前に広い芝生の庭、後ろに「そとば山」（私たちが幼いころは、現在展望台のある文化村背後の山をこのように呼んで遊び場にしていました）に囲まれた素晴らしい環境に位置しているのが海陽町立博物館です。その恵まれた環境にも負けない内容を誇る展示品の数々です。県内外の有名博物館に比しても見劣りをしない充実ぶりです。もちろん規模も小さいし、設備面でも劣るのは致し方がないのかもしれませんが。しかし「海部刀」、「古銭」を中心にした展示品の数々は、有名博物館と比べても遜色のな

い充実ぶりです。

私は、十数年前から海陽町の文化財保護審議委員として博物館と関わっていた関係で、県内外からの来館者と話す機会も数多くありましたが、ほとんどの方が立地条件のすばらしさと内容の充実ぶりを語ってくれます。ところが博物館関係者各位のご尽力にも関わらず入館者数は減少する一方です。博物館運営協議会におきましても、いろいろと検討し、対策を講じてきましたが一向に好転の兆しは見えません。そこで、4年前に博物館応援団を作ろうということで、海陽博物館ボランティア「さざなみ」の会を立ち上げました。会の主旨は「ボランティア活動を通じて学ぼう」です。現在の会員数は21名で、活動内容は、博物館事業への協力や博物館入館者の案内などの諸活動です。今後、博物館がさらに私たち町民の生活に密着した身近な施設になることを念じて努力を続けたいと思っています。一人でも多くの町民の方が、博物館まで足を運んでくださり、「我が家の芝生も青い」と自信と誇りをもって博物館を活用し、応援くださいますようお願いいたします。また、「さざなみ」の会に興味・関心のある方でご協力を希望される方はご連絡ください。

イングランド・セントポールズスクール 国際スポーツ交流 in阿波海南文化村



徳島県のスポーツ交流事業の一環として、8月16日(日)にイングランドの名門ラグビー校セントポールズスクールの男子高校生53名が阿波海南文化村を訪問し、藍染め体験と海陽町立博物館の見学をしました。

藍染め体験では、染め終わったバンダナを生徒の皆さん同士で見せ合いをしたり、頭に巻いたり大変気に入ったようです。海陽町立博物館でも、当館学芸員の日本語での説明を、町内在住の池内貴美子さん、海陽中学校ALTジョアンナ・ヤングさん、海部高等学校ALTジェフ・ハドリーさんが協力し合って英訳し、生徒さんたちから拍手がわき起こる等、大変興味津々で見学されたようです。

当館としても、今回のイベントを機に、外国人観覧者向けの対応や案内を充実させていきたいと考えております。今後にご期待ください。

(地域おこし協力隊 島田佳香)



海陽町立博物館第41回企画展「漂着物展」のお知らせ

- ◆会期◆ 平成27年10月3日(土)～10月18日(日) (10月5日・13日休館)
- ◆会場◆ 海陽町立博物館企画展示室／観覧料無料
- ◆主催◆ 海陽町立博物館・徳島県立博物館 協力／海の観察会

この展示では、漂着物の展示を通して、県民、特に子供たちが楽しみながら海の環境や海流への理解を深め、海洋への関心を高めることを目的とします。

※モモタマナは沖縄などに生育する熱帯性の樹木です。

関連行事

海部自然・文化セミナー(第5回)「漂着物学入門」
平成27年10月4日(日) 13:30～15:00
場所：海陽町立博物館エントランスロビー
講師：茨木 靖(徳島県立博物館学芸係長) 入場無料



モモタマナの実



漂着物を探している皆さん

「人権力」ですみよい町に！

格差と人権④

社会教育指導員 佐藤和久

格差拡大の原因として、その根底に「お金の問題」が潜んでいるのは明らかです。そこで、今回は「お金の問題」について考えてみます。

お金を根拠から問う

私たちは、普段、特に疑問を感じることなくお金を使っています。ところが、それがいつごろ、どのようにしてつくられ、どのような仕組みを持っているかについては意識することが少ないのではないだろうか。そもそも、大昔は物々交換で物の取引を行っていました。それが、金属貨幣が造られたことにより、利便性が増し、広い範囲で貨幣が使われるようになりました。とりわけ、金や金貨を大量に保有する王、貴族、大商人などは

金細工師の金庫に保管してもらいます。やがて、金や金貨を大量に保管している金細工師は、それをもとに利息を取ってお金を貸すという仕組みを思いつくのです。この場合の貸し出すお金は、金の代わりに渡す預かり書などの紙切れです。このようなことが、紙幣が作られ広がりきつかけとなったと言われています。預かり書（紙幣）を貸し付けることにより、ある者は莫大な利息を獲得するようになってきたのです。

現在では、物の取引に使われる現物の紙幣の他に、金融市場などで頻繁に使われる数字だけのお金（加わり、お金の構造と規模は非常に複雑かつ莫大な量になってきています。しかし、利子に関する仕組みは基本的に変わりません。

大多数の者は、大きな買い物をしたとき、ローンなどを組みます。そして、その支払いに長く苦しまなければなりません。一方で、一握りのお金のある者は利子によって寝ていても財が積み上がっていくのです。つまり、この金細工師の考えた「利子のシステム」が経済的格差問題をつくり出す大きな原因になっていると考えられます。



ているのは日銀です。日銀は一見、国の機関のように見えますが、ジャスダックに上場している民間企業です。日銀の運営に関して、多くのことがベールに包まれているのも確かです。紙幣発行権について、憲法できちんと定義され、日銀の運営に国民の声が反映されるようになれば、国民の生活がもっと良くなるのではないかと思います。は私だけでしょうか。

「モモ」の著者として有名なミハエル・エンデ（ドイツ）は晩年、お金の仕組みがおかしいことに気づき、私たち日本人に印象的なメッセージを送っています。

お金のことでもう一つ取り上げなければならぬのが「紙幣発行権（お金をつくることのできる権利）」の問題です。お金を発行する権利を持っていればどんな法律よりも強い力を発揮します。不思議なことに、憲法にはこの重要な発行権のことが記されていません。現在の日本において、紙幣の発行権を有し

「今日の貨幣システムの犠牲者は、第三世界の人々と、自然に他なりません。このシステムが自ら機能するために、今後、それらの人々と自然は、容赦なく搾取され続けるでしょう。このシステムは、消費し、成長し続けられないと機能しないのですから。」

エンデは、お金のシステムが弱い者から多くを搾取し、自然をも破壊し続けていることに警鐘を鳴らすとともに、このまま経済発展が進んでいけば、人類はこの先、何百年も忘れないような後遺症を受けることになるだろうと考えていました。

現在、このお金の問題を解決しようと、世界各地で利子を生まない「地域通貨」や「交換リング」などの活用が模索されています。そこには、地域住民が一体となって（所によっては金融機関も協力して）住みよい社会をつくろうとする思いが流れています。

お金は私たちの生活になくはないものがある一方、生存権をも左右します。お金のルールは絶対的なもののように思えますが、所詮人間が作ったものであり、変えていくことも可能なのです。私たちはこの「お金」の問題について、真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。



人権啓発映画「くちびるに歌を」上映会報告

7月20日、海南文化村において、人権啓発映画上映会がありました。上映されたのは、アンジェラ・アキさんの楽曲『手紙～拝啓 十五の君へ～』をもとにして中田永一さんが書いた小説を映画化した「くちびるに歌を」です。輝かしい才能を持つピアニストだった臨時教員の女性が、生まれ故郷の長崎の離島にある中五島中学校の合唱部顧問として生徒たちと心を通わせていく物語です。生きる勇気と元氣がもらえ、涙なしでは見ることのできない映画だったのではないのでしょうか。

今回、200名あまりの方が参加され、たくさん感想を寄せていただきました。その中からいくつか紹介させていただきます。

- ◆私は、これを見て、友だちの大切さや人と人のコミュニケーションの大切さが分かりました。青春あり、感動あり、すごく見ていて感動もし、楽しく集中でき、その中に溶け込んでいきそうな感じでした。
- ◆気持ちがやさしくなって、自分にできることがあれば人のために役立つことをしたいと思いました。
- ◆子どもの真剣で素直なところに大人も教わるところも多いとあらためて感じました。
- ◆涙が出た。障がい者への差別をなくし、社会全体で支えたい。
- ◆この映画のように人を思いやれるやさしさのある町であって欲しい。
- ◆見たかった映画でした。子どもたちが夢や希望が持てる世の中に。大人の責任ですね。一人じゃない、みんなで生きる社会に…。
- ◆自閉症の兄が一番心豊かであった。
- ◆人権問題を考えさせられた。見て良かったです。
- ◆感動です。涙が出て仕方なかったです。





海陽町盆踊り特集



8月8日の松原夏祭りを皮切りに町内各地区で盆踊りが開催されました。

盆踊りには、お盆にやってくる死者の霊を慰め、歓待し、また送り出すという意味があります。また、それを通じて、生きている人たちの絆を深め、地域を結びつけることにもつながってきたと思います。住んでいる地域、あるいは縁のある地域の盆踊りをのぞいてみましょう！



松原夏祭り

◆とき：8月8日(土) 18:30～

◆場所：松原公民館

松原公民館最大のイベント松原夏祭りに参加してきました。松原子ども会の保護者の方のご協力もあり出店も多く大勢の子どもさんでにぎわっていました。民踊の方を筆頭に太鼓を囲って輪になり、海部川筋盆踊りを踊り、どこか懐かしい地域のお祭りの雰囲気漂っていました。



中里盆踊り大会

◆とき：8月14日(金) 19時～

◆場所：角坂山村広場

穴喰の角坂・広岡・小谷・塩深・船津・芥附地区のお祭りです。

初盆の方を祀るテントがあり、盆踊りの前に盆供養をします。

夜店も多く、阿波踊りや、お菓子・もち投げ、パンツ投げ！？などの催しもありました。(以前下着の縫製工場が近くにあったようです。)

広場中央に設置されたやぐらを囲み、太鼓と鉦、音頭出しと「よいやな」のかけ声と共に団七踊りと同じ音頭「娘仇討ち白石口説(むすめあだうちしらいくどき)」で踊ります。初めは小さかった輪も次第に参加者が増え、大きな輪となっていました。

帰省客も多く小さいお子さんからお年寄りの方まで年齢を問わず音楽に合わせて楽しそうに踊っていたのが印象的でした。



★盆踊りの楽しみ方★

盆踊りの楽しみ方は人それぞれです。

観客として少しはなれた場所から踊りを眺めるのもよいですが、ぜひ、だまされたと思って1周踊ってみることをオススメします。

恥ずかしがらず、輪の中に入る。みなさん、親切な方ばかりなのでやさしく踊りを教えてくれます。見よう見まねで1周踊り終わるころには体得し、みんなで陽気に踊る楽しさを覚えます。浴衣での参加、仮装ならなお良し！

さらに上を目指す、徹底的に盆踊りを楽しみたいという方には、地域の盆踊りの準備から片付けまで参加してみることをオススメします。会場の草刈りから始まり、会場設営、最後、晩遅くまでみんなで片付けをする。こうやって地域行事に積極的に参加し、地域の輪に入るといことも盆踊りの醍醐味なのかもしれません。



盆踊り大会

海部川筋盆踊り大会

◆とき：8月18日(火) 19:30～

◆場所：奥浦町民グラウンド
(旧海部中学校グラウンド)

これぞ、海部川筋盆踊り！19時半から22時まで中休憩(10分)をはさみますが、海部川筋盆踊りのみを踊り続けます。そのため、音頭取りが13人と多く、多彩な音頭も見所の一つです。

海部川筋盆踊りは仮装参加があることで有名ですが、みんな思い思いの趣向を凝らした仮装で参加し、時間とともに仮装者の数が増えていきました。昔、盆踊りには仮装した踊り子が必ずいて、そんな踊り子たちでにぎわい、盛り上げてくれていたそうです。この仮装も正統らしいです。心配していたお天気もなんとか持ちこたえ最後までみなさん踊りきりました。



四方原盆踊り

◆とき：8月20日(木) 19時30分～

◆場所：弘法寺

弘法寺への道を歩いていくと音頭とともにポツポツと盆提灯の灯りが見えてきます。提灯の灯りだけで照らされた境内の中心に太鼓があり、その上の大きな盆灯籠が盆踊りの雰囲気をもっと一層引き立たせてくれています。太鼓と踊り手との距離が非常に近いので、太鼓と音頭とを肌で感じながら踊ることができます。

こちらでも仮装した踊り子さんたちが会場を盛り上げてくれました。昔は男の人が女の人に、女の人が男の人に仮装したり、音頭取りさんも参加者もほろ酔いで、境内の外まで人が溢れ、夜更けまで踊っていたそうです。古き良き昔ながらの日本の盆踊りの風情が残っていました。



この日は良いお天気だったのですが、舞台には傘(番傘)が・・・不思議に思ってみてみると、実はこの傘、マイクの代わり。マイクがなかったその昔、声が逃げてしまわないように傘をたて音頭取りの人はこれを支えにしてカーン唄っていたようです。





大里盆踊り

◆とき：8月23日(日)

19時30分～

◆場所：大里集落センター

大里、中小路と浜崎の盆踊りです。

これまで各会場を回られてきた音頭取りさんたちもここが最後なので力が入ります。この時期は台風が多く、去年、一昨年は雨天のため義仁荘で行いましたが、今年はお天気にも恵まれ例年より多くの人が集まりました。

色とりどりの提灯とともに集落センターの軒先に初盆の灯籠が並び、みなさん初盆の人を供養するような気持ちで踊られています。



取材し終えて…



町内5会場の盆踊りを回ってみて、同じ盆踊りでも地域ごとの特色や伝統があり、どの地域もそれぞれ魅力的で活気がありました。盆踊りは本来お盆に帰ってきた霊に対する慰霊の行事ですが、娯楽的な要素もあり、帰省した人々の再会の場であったり、むかしは月明かりの下、男女の出会いの場でもあったようです。「今日は四方原の盆踊り、明後日は大里～」というふうに、二人で町内の盆踊りをいくつもはしごしていたなんていうお話も聞きました。

ちかごろは盆踊りに参加される方も準備を手伝ってくださる方も少なくなっており、「前はここの広場でも盆踊りしよったんやけんどね～」と開催されなくなったことを惜しむ声も多くありました。町内会や地域のお店が行ってきた盆踊り大会は時代の流れと共に少しずつ縮小し、その火が消え始めています。日本の夏の風物詩である盆踊りを先代から継承し、地域の活性化と住民の方の絆をさらに強くしていくためにも、地元の盆踊りをみんなで協力し合って盛り上げ、後世へと伝承していきたいですね。

家は近いんやけんどなあ～、今までいったことないんよ～、という方、長いこといってないなあ～なんて方も、来年はお近くの盆踊り、ぜひ参加してみてください。



平成27年度 海陽町文化財巡り

町内小学校3校6年生を対象に、町内の文化財めぐりを3日間開催しました。

説明は、海陽町立博物館 郡司早直学芸員、岡澤祖一さん、川部計美さん、田井晴代さん、地域おこし協力隊 島田佳香さん、南部防災館職員1名あわせて5名が行いました。8月5日(水)は海部小学校7名、6日(木)は穴喰小学校21名、7日(金)海南小学校40名がそれぞれ文化財めぐりを行いました。町内に今も残る数々の史跡を通して、地域の文化や先人の知恵を学ぶとともに、郷土への愛着を深めました。



浅川弥勒石仏（県下最大の弥勒石仏）



化石遶痕（国指定・波の化石）【穴喰】



八坂神社 【穴喰】



防災の話【南部防災館】



戦争体験の話【海陽町立博物館】



大岩供養碑【海部】

『邦楽演奏会』開催のお知らせ

日頃の練習とアーティストによるワークショップを受けた成果の発表として、邦楽演奏会を開催いたします。

「参加者とアーティストとの共演」「アーティストのソロ演奏」等、邦楽器の音色をお楽しみ下さい。

日 時：11月23日（月・祝）午後2時～（予定） 場 所：穴喰町民センター 3階大ホール
参加団体：葉風会穴喰支部及びアーティスト（等） 入場料：無料

◆問い合わせ 海陽町教育委員会 0884-73-3100

共楽運動会の開催について

10月4日(日)

○川東共楽運動会	松原町民グラウンド	(午前8時30分～)	雨天時11日(日)
○浅川共楽運動会	浅川町民グラウンド	(午前9時～)	雨天時11日(日)
○海部共楽運動会	奥浦町民グラウンド	(午前9時～)	雨天時、奥浦町民体育館
○穴喰共楽運動会	穴喰小学校グラウンド	(午前8時30分～)	雨天時、穴喰小学校体育館
○神野若松共楽運動会	神野町民グラウンド	(午前9時～)	雨天時11日(日)
○相川共楽運動会	相川グラウンド	(午前8時30分～)	雨天時11日(日)
○小川共楽運動会	小川グラウンド	(午前10時～)	雨天時11日(日)
○平井共楽運動会	平井グラウンド	(午前10時～)	雨天時11日(日)

皆さん、お誘いの上ご参加下さい。

第10回海陽町文化祭開催について

◆作品展示◆

海南会場(阿波海南文化村)	10月30日(金)～11月3日(火)
海部会場(海部公民館)	10月31日(土)～11月3日(火)
穴喰会場(穴喰町民センター)	10月31日(土)～11月3日(火)

◆芸能大会(一般の部)◆

海南会場(海南文化館)	10月25日(日) 午後1時～
穴喰会場(穴喰町民センター)	11月15日(日) 午後1時～

◆芸能大会(学生の部)◆ 海南文化館 11月7日(土) 午後1時

◆関連行事◆

海南会場			
お茶会	海南文化館和室	11月3日(火)	午前10時～
川柳大会	いきいき館和室	11月3日(火)	午後1時～
囲碁大会	いきいき館和室	10月31日(土)	午前9時～
海部会場			
お茶会	海部公民館	10月31日(土)	午前10時～
穴喰・海部・海南合同俳句大会	役場海部庁舎 2階会議室	11月3日(火)	午後1時～
穴喰会場			
民話紙芝居	穴喰町民センター	10月31日(土)	午前10時～11時まで
俳句大会	穴喰図書館	11月14日(土)	午後1時30分～
お茶会	穴喰町民センター	11月1日(日)	午前10時～正午まで

問い合わせ先 海陽町教育委員会 0884-73-3100
皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください。

生涯学習講座

7月18日、19日、8月1日に親子で夏の体験講座を実施しました。

木製アクセサリーを作ろう！

◆温かみある木製のオリジナルアクセサリーを作りました。鉛筆で下書きし、おおまかな形にカットします。それから、やすりで削り、目の細かい布やすりで水研ぎします。



磨くと輝きが増し、手触りも良くなるのでみなさん最後まで念入りに磨きをかけていました。

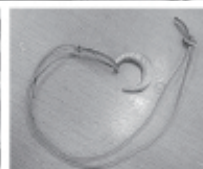
生涯学習とは、健康で豊かな生活を営み、仕事に役立つ知識や技術を身につけて、いきがいのある充実した人生を過ごせるように生涯を通じて行う学習活動のことです。



色合いの良い寄木を選びます



皮製のヒモを通して出来上がり！木のアクセサリーは使いこめると輝きます。



藍染めTシャツを作ろう！



全員で記念撮影！



◆今回はTシャツを藍染めました。お孫さん用に作られている方や、藍返しという藍染めの技法で色の濃淡出しにチャレンジされる方もいました。

コケ玉皿を作ってコケ玉を飾ろう！

◆夏に涼やかなコケ玉、それをのせる皿作りに挑戦しました。



コケ玉がぐっとおしゃべりになりました。



※親子での参加が原則ですがお孫さんとおじいちゃん友人同士、いろいろなパターンで参加出来るよう対応いたしますので、お気軽に相談下さい。次回の秋の体験講座もお楽しみに！

穴喰公民館交流グラウンドゴルフ大会

優勝…大黒千枝美さん
準優勝…樽井 栄子さん
第3位…弘田 寿子さん

7月19日(日) 於：穴喰小学校グラウンド



大会には41名の方が参加し、健康的に、楽しみながらプレーし、親睦を深めていました。

参加選手全員が日頃の練習の成果を発揮しました。ホールインワン賞も10名の方が獲得し、好プレーの連続で大いに盛り上がりました。

浅川公民館対抗ソフトボール大会

優勝…伊勢田
準優勝…浜・東

7月24日(金) 於：浅川町民グラウンド

雨天の為、2日間の順延で開催された今年の大会。それぞれのチームで元気なはつらつとしたプレーがみられ、内容も白熱した試合となりました。



川東公民館対抗女子玉入れ大会

優勝…浜崎A
準優勝…飯持B

7月28日(火) 於：海陽中体育館



予選

チーム名	1回目 玉数	2回目 玉数	合計
① 四方原C	57	68	125
③ 松原・ 五反田B	72	54	126
⑤ 四方原A	38	35	73
⑦ 浜崎B	73	71	144
⑨ 吉野・熱田	72	57	129
⑪ 中小路	50	57	107

予選

チーム名	1回目 玉数	2回目 玉数	合計
② 飯持A	77	86	163
④ 多良	57	72	129
⑥ 飯持B	79	55	134
⑧ 四方原B	58	52	110
⑩ 浜崎A	79	75	154
⑫ 松原・ 五反田A	48	52	100

決勝トーナメント

飯持A	84
浜崎A	94
飯持B	93
浜崎B	56
飯持A	61
浜崎B	59

浅川公民館対抗女子ソフトバレーボール大会

8月6日(木) 於：浅川町民体育館

優勝…イナ・浦上・西
準優勝…八坂・伊勢田下



川東分館対抗ミックスバレーボール大会

8月29日(土) 於：海陽中体育館

優勝…四方原
準優勝…中小路



浅川公民館対抗ミックスバレーボール大会

9月3日(木) 於：浅川町民体育館

優勝…伊勢田上
準優勝…イナ・浦上・西



穴喰俳句

八月例会より

天の川一人きりなる夜のしじま
 息づかい合わせるように合歓の花
 万緑の中をのんびりローカル線
 流星にとどけ願いはただひとつ
 もぎたてのトマトを食べて真白き手
 荒波や台風どこまで来てるやら
 夏つばめ見失いては空仰ぐ
 台風の前に飛び去るように発った人
 アングルを決めて夕日の蓮かな
 初鯉土間に二本を投げ呉れし
 蛍舞う向こうの闇はあたらしき
 朝顔や鳩の時計のよく響き
 真夏日や出来ることから一つづつ
 施餓鬼^{せがき}棚米も野菜も存分に
 扇風機だれも居らないのに回り

樽井みつ子
 山本球子
 元木栄子
 新井駿也
 陸田ヨネ子
 梅田千恵子
 鍛冶田 晟
 外山千佳
 川野佳代
 長岡達江
 新井久実
 元木朱子
 間戸谷恵子
 寺崎照代
 木下野生

海南俳句

のびやかに風鈴鳴りぬ南部鉄
 中三日行きも帰りも合歓の道
 寝そびれて星のしづくに酔ふひとり
 カッコや姿みせず鳴きにけり
 短冊に娘の癖字星祭
 白靴のそろいでふたり四国路を
 朝顔の淋し気に咲く空家かな
 少しでも晴間下さい稲穂出る
 朝顔にあいさつ交わす児らの列
 定位置に泥の長靴梅雨長し
 梅雨寒の起座両の手に助けられ
 朝日とともに笑顔を届けぬ紅芙蓉
 蜘蛛の罫に顔中捕へられにけり
 餌をねだる子燕顔中口にして
 敦盛の一番初夏の風となる

廣瀬克子
 橋本幸子
 津川須美江
 坂本節子
 田中たち子
 山本達平
 新居利之
 森口豊子
 平道はつ子
 森 浩子
 岳山祐弘
 叶岡陽二
 谷口洋根子
 鍛冶崎郁夫
 武知陸子

8月発行 第56号 海南俳句会分に誤りがありましたので、
 訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 父の日やきせる煙草をふかす亡父
 (正) 高く低くつかず離れず蝶ふたつ

橋本 幸子
 橋本 幸子

海部ひまわり俳句

野球場熱き声援カンナ燃ゆ
遊ぶ子ら去って川面に夏の月
朝顔や赤白青でソファミレド
狛犬こゝろぬの前かけ真白に夏まつり
さし入れは真心あつき梅雨夕餉ゆうげ
八月やひたすら祈る平和かな
のうぜんかずらぼくたちの秘密基地
土用波サーファーみごと波に乗る
生れ来し緑の地球誰のもの
青い空青い連山夏の色
神主の祝詞のりとかき消す蟬しぐれ
青栗の折合ひつけし成長期
A reflecting pool.Bestowed by a passing cloud.
Drifting who knows where.



津田 一
西本 公明
榎原 礼子
南 歌子
松田 嘉子
元木 美枝子
佐藤 美代子
穴戸 道子
岡 育代
川野 照美
福田 敦子
佐藤 薦子
山無門

海部短歌会

溯る波のいくつか鬨なげあひ海部河口はひと時飽和す
ケースにて送られて来し鈴虫は野にあるごとくリンリンと鳴く
なにもかも諦めないでこれからと鏡の我が励ましている
龍井ろんしんの霧に隠るる石庭の心にしばし打たれ佇む
朝顔の数えて足らぬ子の指に母の指貸す朝のひととき
夏野菜煮たり漬けたり炒めたり彩り良けれ添えて盛りたり
炎天下萎れるほどに衰えど朝には開く露草の花
朝夕の挨拶稀なりわが街よ限界急せくな消滅するなよ

北村 千代子
西田 美代
榎岡 節子
田村 航也
風呂谷 幸子
溝内 和恵
小笹 仁子
池田 孝司

網代川柳八月句会より

明らかにあの目は好きと言っている
あれこれと家事を分け合う共稼ぎ
趣味通じ共に生き甲斐励む友
共通の話題があつてはずむ老い
温かい文字が渴きを消して行く
若いから模造品でもよく似合う
品の良さ内面までは見えません
起きてみて動かす足をなでている
脳回路老いて脱線くり返す

北川 弥生
黒岩 一平
福岡 純山
中村 あかり
井上 可楽
風呂谷 いずみ
石垣 小道
太田 一洋
高木 柳月

トピック

町指定史跡

判形人屋敷跡 (所在地 海陽町鞆浦字山下)



御判形人は、かつて森志摩守に従って朝鮮の役に参戦したり、阿波水軍として、大阪の陣にも従軍して功績をたて、藩主至鎮より諸役御免の証をいただいた。

寛永 17 年 (1640)、海部騒動の後始末を国境警備を兼ねて、頭三十六名海部城北山下に住居していたが、正保 4 年 (1647) の大洪水で、家屋敷共流され、方々に散って行った。

しかし、幕末まで、那賀海部浦奉行、山下、立岩、日和佐の御陣屋、穴喰の番所などで、県南の警備と治安に勤めていた。